

本庄良文教授 略歴および業績

【略歴】

学歴

- 昭和五〇年三月 京都大学文学部哲学科卒業（文学士）
昭和五二年三月 京都大学大学院修士課程修了（文学修士）
昭和五三年三月 京都大学大学院博士後期課程（宗教学専攻）中退

学内役職

- 平成 元年四月 文学部非常勤講師（～平成二二年三月）
平成二二年四月 仏教学部仏教学部特別任用教授（～平成二六年三月）
平成二六年四月 仏教学部教授（～令和四年三月）
平成二八年四月 法然仏教学研究センター長（～令和四年三月）
平成二八年四月 佛教大学宗教文化ミュージアム運営委員（～令和三年三月）
平成二八年四月 宗門後継者養成委員会委員（～令和四年三月）
令和 三年四月 佛教大学評議員（～令和四年三月）
令和 四年四月 仏教学部非常勤講師

その他の職歴

昭和五三年四月 京都大学文学部助手（～昭和五五年三月）
平成 元年九月 神戸女子大学専任講師（～平成五年三月）
平成 五年四月 神戸女子大学助教授（～平成十二年三月）
平成 六年四月 知恩院浄土宗學研究所嘱託研究員（～平成十九年三月）
平成十二年四月 神戸女子大学教授（～平成十六年三月）
平成二十年四月 知恩院浄土宗學研究所研究副主任（～平成二十六年三月）
大正大学交換教授、精華短期大学・京都産業大学・種智院大学・大阪大学・京都大学・大阪外国語大学・広島大学・九州大学非常勤講師（詳細略）

学会関連

所属学会

ジャイナ教研究会
日本印度学仏教学会
日本佛教学会
法然上人研究会
日本仏教総合研究会
佛敎大学仏教学会

浄土学研究会

仏教文学会

浄土宗教学院

【業績】

単著

『俱舍論所依阿含全表Ⅰ』 私家版 昭和五九年三月

『梵文和譯決定義經・註』 民族出版社 平成元年三月

『俱舍論註ウパーイカーの研究 訳註篇 上』 大蔵出版 平成二六年 六月

『俱舍論註ウパーイカーの研究 訳註篇 下』 大蔵出版 平成二六年 七月

共著

『ブツダの詩Ⅰ』

『インド仏教Ⅱ』 (岩波講座東洋思想第九卷)

『傍訳選訳本願念仏集』 (上)

『傍訳選訳本願念仏集』 (下)

『俱舍論の原典研究 智品・定品』

『俱舍論の原典研究 随眠品』

講談社 昭和六一年七月

岩波書店 昭和六三年十月

四季社 平成十三年六月

四季社 平成十三年七月

大蔵出版 平成十六年十月

大蔵出版 平成十九年十月

『法然上人のお言葉―元祖大師御法語―』

総本山知恩院布教師会 平成二二年四月

『大乘仏教の誕生』（シリーズ大乘仏教2）

春秋社 平成二三年十二月

『俱舎 絶ゆることなき法の流れ』

自照社出版 平成二七年三月

『桑門秀我著 選択本願念佛集講義 前篇』

佛教大学法然仏教学研究センター 令和二年一月

『桑門秀我著 選択本願念佛集講義 後篇』

佛教大学法然仏教学研究センター 令和四年三月

論文

Theragāthā 1209-1279 (Mahānipāta) 研究ノート [I]

『インド学報』 二 昭和五一年十月

Theragāthā 1209-1279 (Mahānipāta) 研究ノート [II]

『印度学仏教学研究』 二五―一 昭和五一年十二月

俱舎論―三世実有説（訳注）―（共著）

『南都佛教』 四一 昭和五三年十二月

初期仏典における沐浴者 (Snātaka)

『佛教論叢』 二三 昭和五四年十月

Samathadeva の俱舎論註―中阿含の組織の若干について―

『佛教論叢』 二五 昭和五六年十一月

シャマタデーヴァの引くマートリチェータの『四百讚』

『佛教論叢』 二六 昭和五七年九月

三世実有説と有部阿含

『佛教研究』 十二 昭和五七年十二月

俱舎論註ウパーイカーの伝へる『因縁相応』〔1〕―蘆束経―

『印度学仏教学研究』 三一―一 昭和五七年十二月

シャマタデーヴァの傳へる『大業分別經』と『法施比丘尼經』

『佛教文化研究』 二八 昭和五八年三月

ウパーイカーの引く童受の『喩鬘論』断章

『浄土宗教学院研究所研究報』 五 昭和五八年八月

シヤマタデーヴァの俱舍論註雜錄

『佛教論叢』二八 昭和五八年九月

シヤマタデーヴァの引く論書に就て

『佛教論叢』二七 昭和五八年九月

Pali Udāna 研究 (一)

『佛教大学佛教文化研究所研究紀要』一 昭和五九年三月

Ratnāvali の阿含的表現 (一)

『佛教大学佛教文化研究所研究紀要』二 昭和六十年三月

ウパーイカー所伝の長阿含

『印度学仏教学研究』三三一 昭和六十年十二月

シヤマタデーヴァの伝える中・相応阿含

『佛教研究』一四 昭和六十年十二月

シヤマタデーヴァの伝える律典

『佛教研究』一五 昭和六二年三月

馬鳴詩のなかの経量部説

『印度学仏教学研究』三六一 昭和六二年十二月

シヤマタデーヴァの伝へる増一阿含

『佛教論叢』三二 昭和六三年九月

印度昔話 (一) — ジャイナ教説話より —

『木野評論』二〇 平成元年三月

阿毘達磨仏説論と大乘仏説論 — 法性、隱没経、密意 —

『印度学仏教学研究』三八一 平成元年十二月

『釋軌論』第四章 — 世親の大乘仏説論 (上) —

『神戸女子大学紀要文学部篇』二三一 平成二年三月

漢訳雜阿含・ウパーイカー対照

『佛教論叢』三四 平成二年九月

毘婆沙師の三藏觀と億耳アヴァダーナ

『佛教論叢』三五 平成三年九月

Sautrāntika

『印度学仏教学研究』四〇—二 平成五年三月

『釋軌論』第四章 — 世親の大乘仏説論 (下) —

『神戸女子大学紀要文学部篇』二五一 平成四年三月

貪 (rāga) と愛 (tṛṣṇā) との同異

『佛教論叢』三六 平成四年九月

馬鳴の學派に關する先行學説の吟味 — ジョンストン説 —

- 『渡邊文麿博士追悼論集 原始仏教と大乘仏教』 平成五年五月
馬鳴作 『サウンドラナンダ』 第13章22―26
『佛教論叢』 三七 平成五年九月
経を量とする馬鳴
『印度学仏教学研究』 四二―二 平成五年十二月
『俱舍論』 における餘部阿含の引用
『佛教論叢』 三八 平成六年九月
『俱舍論』 七十五法定義集
『三康文化研究所年報』 二六／二七 平成七年三月
『往生要集義記』 第一―訓み下しと現代語譯 (一)―
『浄土宗學研究』 二一 平成七年三月
ムーラデーヴァ物語
『ジャイナ教研究』 一 平成八年九月
玄奘譯 『俱舍論』 における「順」の意味
『佛教論叢』 三九 平成七年九月
『往生要集義記』 第一―訓み下しと現代語譯 (二)―
『浄土宗學研究』 二二 平成八年三月
『往生要集義記』 第一―訓み下しと現代語譯 (四)―等活地獄の様相
『佛教文化研究』 四一 平成八年九月
『往生要集義記』 第一―訓み下しと現代語譯 (三)―等活地獄の前半
『浄土宗學研究』 二三 平成九年三月
『選擇集』 撮要
『浄土宗學研究』 二四 平成十年三月
『随眠施設』 『名色施設』 ―有部 『施設論』 の未知なる構成要素―
『印度学仏教学研究』 四七―一 平成十年十二月
『俱舍論』 関係資料に見える北俱盧洲 『佛教大学総合研究所紀要別冊 浄土教の総合的研究』
平成十一年三月
『往生要集義記』 第一―訓み下しと現代語譯 (五)―等活地獄の殘餘 『浄土宗學研究』 二五
平成十一年三月
説一切有部の縁起説―舟橋一哉説の検討― 『印度学仏教学研究』 四八―一
平成十一年十二月
『往生要集義記』 第一―訓み下しと現代語譯 (六)―黒繩・衆合・叫喚

陳那作『アビダルマ要義灯』世品(一)

『淨土宗學研究』二六 平成十二年三月
『種智院大学研究紀要』一 平成十二年三月

『釈軌論』第一章(上) — 世親の經典解釈法 —

『香川孝雄博士古希記念論集 仏教学浄土学研究』永田文昌堂 平成十三年三月

世親の縁起解釈 — 受支 —

『石上善應教授古稀記念論文集 インド文化の基調と展開』1 平成十三年五月

毒蛇と出家沙門

『ジャイナ教研究』七 平成十三年九月

『俱舍論』世品本論・滿増疏訳注(一)(共著)

『櫻部建博士喜寿記念論集 初期仏教からアビダルマへ』 平成十四年五月

The Word Sautrāntika Journal of the International Association of Buddhist Studies 26(2) 平成十五年九月

『俱舍論』界品・根品和訳の検討

『佐藤良純教授古稀記念論文集 インド文化と仏教思想の基調と展開』第一卷 平成十五年九月

『往生要集義記』第一 — 訓み下しと現代語譯(七) — 大叫喚・焦熱地獄

『淨土宗學研究』三〇 平成十六年三月

『俱舍論』世品本論・滿増疏訳注(二)(共著)

『神子上恵生教授頌寿記念論集 インド哲学佛教思想論集』 平成十六年三月

古本漢語灯録所収『往生要集釈』訳注

『高橋弘次先生古稀記念論集 浄土学仏教学論叢』1 山喜房仏書林 平成十六年十一月

『往生要集義記』第一 — 訓み下しと現代語譯(八) — 大焦熱地獄 『淨土宗學研究』三一 平成十七年三月

『俱舍論』世品本論・滿増疏訳注(三)(共著)

『長崎法潤博士古稀記念論集 仏教とジャイナ教』平成十七年十一月

『往生要集義記』第一―訓み下しと現代語譯(九)―阿鼻地獄(その一)

『浄土宗學研究』三四 平成十九年三月

『往生要集義記』第六―臨終行儀(一)―

『鳳翔學叢』三 平成十九年三月

『往生要集義記』第一―訓み下しと現代語譯(十)―阿鼻地獄(その二)

『浄土宗學研究』三五 平成二十年三月

毘婆沙師の仏説觀

『インド論理學研究』I 平成二二年九月

『法然上人のお言葉―元祖大師御法語―』解釈上の諸問題』(共著)

『八百年遠忌記念法然上人研究論文集』平成二三年二月

『選択集』第四・第十二章における「廢立」の語義

『八百年遠忌記念法然上人研究論文集』知恩院浄土宗學研究所 平成二三年二月

『選択集』第十三章における「不可得生」の經典解釈法

『浄土宗學研究』三七 平成二三年三月

經の文言と宗義―部派佛教から『選択集』へ

『日本佛教學會年報』七六 平成二三年八月

『選択集』第二章における千中無一説―諸行往生の可否に関連して

『佛教大學仏教學部論集』九六 平成二四年三月

法然による諸行往生の「否定」―論点の整理

佛教大學総合研究所『法然上人800年遠忌記念論集―法然仏教とその可能性』平成二四年三月

『選択集』第六章における特留念仏釈と諸行往生の可否―平雅行説の検討―

『福原隆善先生古稀記念論集 佛法僧論集』2 平成二五年二月

了慧道光による『選択集』第十三章「不可得生」の解釈

『廣川堯敏教授古稀記念論集 浄土教と佛教』 平成二六年十月

『選択集』第十二章における随自意・随他意説―諸行往生の可能性に関する善裕昭説の検討―

藤本浄彦先生古稀記念論文集刊行会編『法然仏教の諸相』 平成二六年十二月

隆寛撰『知恩講私記』現代語試訳 佛敎大学法然仏敎教学研究センター紀要』（創刊号） 平成二七年三月